

2021年度中間（4月～9月）決算報告

1. 損益の概況

【損益概況】

(単位：千円) 2021年9月末日現在

(損益概況)		前年実績	予算金額	実績	前年比	予算比	事業高比
供給高合計	1	15,436,894	14,715,373	15,705,730	101.7%	106.7%	97.1%
供給剰余金合計	2	3,826,212	3,424,018	3,704,968	96.8%	108.2%	22.9%
その他事業収入	3	447,595	450,762	461,915	103.1%	102.4%	2.8%
総事業高(総事業収入)計	4	15,884,489	15,166,135	16,167,646	101.7%	106.6%	100.0%
事業総剰余金	5	4,273,807	3,874,781	4,166,883	97.4%	107.5%	25.7%
事業経費合計	6	3,574,509	3,687,590	3,667,037	102.5%	99.4%	22.6%
人件費	7	779,846	836,566	792,226	101.5%	94.6%	4.9%
物件費	8	1,805,045	1,895,458	1,869,599	103.5%	98.6%	11.5%
連合会分担費	9	989,617	955,565	1,005,211	101.5%	105.1%	6.2%
事業剰余金	10	699,298	187,190	499,846	71.4%	267.0%	3.0%
事業外損益合計	11	54,689	11,646	22,818	41.7%	195.9%	0.1%
経常剰余金	12	753,986	198,836	522,663	69.3%	262.8%	3.2%

供給高・総事業高

- (1) 供給高は、前年比+2億6,883万円、予算比+9億9,035万円でした。
- (2) 総事業高は、前年比+2億8,315万円、予算比+10億151万円でした。
- (3) その他事業収入はカタログに掲載されているチケット、サービス斡旋商品の手数料、共済事務手数料、パルシステム手数料、葬祭事業斡旋手数料、電力手数料等で、前年比+1,432万円、予算比+1,115万円です。
- (4) 事業総剰余金(供給剰余金+その他事業収入)は前年比△1億692万円、予算比+2億9,210万円です。なお、供給日数は前年・当年とも131日でした。供給高は前年・予算とも超過しましたが、仕入高も増加したため、供給剰余金(供給高-仕入高)は予算は超過しましたが、前年を下回りました。その他事業では、チケット販売の手数料と共済手数料、パルシステム手数料は前年を超過し、全体でも予算を超過しています。事業総剰余金は供給高の伸長により、予算は超過しましたが、仕入高の増加により前年は下回りました。

事業経費合計

- (1) 事業経費は前年比+9,252万円で、予算比△2,055万円でした。計画よりも新規の採用が進まず、人員不足(配達担当者や倉庫作業員)は、継続的な課題となっています。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、組合員拡大や組合員活動を縮小しているため、教育文化費や組合員活動費、広報費は予算を下回っております。しかし、供給高の増加に連動して委託運搬費や分担費は増加しています。
 - ① 人件費・・・前年比+1,238万円、予算比△4,434万円
 - ② 物件費・・・前年比+6,455万円、予算比△2,585万円
 - ③ 分担費・・・前年比+1,559万円、予算比+4,964万円

* 分担費は、県内の組織率(組合員数÷世帯数)を元に係数を決定し、供給高にこの係数を乗じて決定します。上期の供給高が増加したため、分担費も増加しました。

事業剰余金・経常剰余金

- (1) 事業剰余金は、前年比△1億9,945万円、予算比+3億1,265万円でした。
- (2) 経常剰余金は、前年比△2億3,132万円、予算比+3億2,382万円でした。

2. 貸借の概況

【貸借概況】

(単位：千円) 2021年9月末現在

勘定科目		金額	構成比	前年比	勘定科目		金額	構成比	前年比
流動資産	1	13,600,326	70.0%	116.5%	流動負債	10	4,364,320	22.4%	105.4%
現預金	2	8,108,468	41.7%	115.3%	買掛金	11	2,161,257	11.1%	108.4%
供給未収金	3	2,298,656	11.8%	104.6%	その他流動負債	12	2,203,063	11.3%	102.5%
その他流動資産	4	3,193,201	16.4%	130.5%	固定負債	13	595,949	3.0%	107.6%
固定資産	5	5,804,817	29.9%	91.2%	純資産合計	14	14,444,874	74.4%	108.2%
有形固定資産	6	2,201,846	11.3%	98.0%	組合員出資金	15	8,783,549	45.2%	107.9%
無形固定資産	7	1,106	0.0%	69.6%	法定準備金・積立金	16	5,048,202	26.0%	115.2%
その他固定資産	8	3,601,864	18.5%	87.5%	当期末処分剰余金	17	613,122	3.1%	74.5%
					(うち当期剰余金)	18	522,106	2.6%	69.2%
資産合計	9	19,405,143	100.0%	107.5%	負債・純資産合計	19	19,405,143	100.0%	107.5%

9月末現在の当組合の財産状況です。総資本に対する自己資本の比率は74.4%です。

- (1) 主な流動資産は、普通預金や定期預金、組合員の利用代金の供給未収金です。
- (2) 有形固定資産は、三芳センターの空調設備改修工事(550万円)、白岡センターの防犯カメラ交換工事(74万円)、ぱる★てらすの太陽光遠隔監視装置設置工事(50万円)等が増加しています。また、老朽化した資産、こんせんくん着ぐるみ(28万円)と三芳センター空調設備(24万円)を除去しました。有形固定資産の償却は3,736万円です。無形固定資産は勤怠管理システムの改修工事(39万円)により増加しましたが、償却により45万円減少しました。その他固定資産については、前年同月と比較してパルシステム連合会への預け金の満期(6億5,000万円)による減少とパルシステム連合会への増資(1億1,460万円)による増加等により5億1,356万円減少しています。
- (3) 流動負債は短期1年以内で返済予定のものを計上しています。主な流動負債は、パルシステム連合会への商品仕入代金、月次で発生した経費支払い分です。
- (4) 固定負債は、役職員が将来、退職した際に備えるための退職給与の引当分などです。
- (5) 組合員出資金は87億8,354万円となり、前年同期との比較では6億4,607万円の増加です。

3. 組織動態

- (1) 上期の新規加入組合員は11,998人、脱退組合員は8,231人、純増数は3,767人でした。引き続き感染拡大防止に努めながら、組合員拡大を進めます。

4. 上期の特徴と下期について

- (1) 今年度は、昨年度より継続して新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が発令され、商品の利用人数・利用点数は高い水準で推移しています。また、昨年は点数制限や欠品等で多くの組合員にご迷惑をお掛けしましたが、上期は安定して商品供給を行うことができました。現在は、感染拡大も落ち着きを見せていますが、引き続き感染拡大防止に重点を置き、状況を見ながら組合員活動・組合員拡大を行っていきます。不足人員の採用や活動の再開等で経費の増加(人件費や組合員活動費、広報費等)も見込まれますが、引き続き安定した経営に努めます。

以上